



平成27年1月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年12月9日

上場会社名 株式会社シーイーシー 上場取引所 東
 コード番号 9692 URL http://www.cec-ltd.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田原 富士夫
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 筒井 伸二 TEL 046-252-4111
 四半期報告書提出予定日 平成26年12月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年1月期第3四半期の連結業績（平成26年2月1日～平成26年10月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年1月期第3四半期	31,140	2.1	2,120	62.9	2,057	61.0	1,519	116.6
26年1月期第3四半期	30,489	3.1	1,301	10.7	1,278	15.6	701	△21.4

(注) 包括利益 27年1月期第3四半期 1,604百万円 (84.4%) 26年1月期第3四半期 870百万円 (7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年1月期第3四半期	87.13	86.79
26年1月期第3四半期	40.25	40.17

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年1月期第3四半期	35,356	22,228	61.2	1,241.21
26年1月期	32,967	20,955	62.0	1,172.83

(参考) 自己資本 27年1月期第3四半期 21,651百万円 26年1月期 20,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年1月期	—	10.00	—	10.00	20.00
27年1月期	—	10.00	—	—	—
27年1月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年1月期の連結業績予想（平成26年2月1日～平成27年1月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	2.6	2,500	27.8	2,450	26.9	1,450	29.4	83.14

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年1月期3Q	18,800,000株	26年1月期	18,800,000株
② 期末自己株式数	27年1月期3Q	1,356,250株	26年1月期	1,370,702株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年1月期3Q	17,439,429株	26年1月期3Q	17,429,298株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成26年2月1日～平成26年10月31日)におけるわが国経済は、消費増税に伴う駆け込み需要の反動減により、個人消費など一部に弱い動きがみられたものの、企業収益・雇用情勢の改善は継続しており、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

情報サービス産業においては、緩やかな景気回復を背景に企業のIT投資マインドに改善がみられました。特に市場のニーズは売上拡大や競争優位性の確保につながる経営戦略面の課題に対して高まっており、さらなる顧客目線でのシステム提案・サービス提供が求められております。

このような情勢のなか、当社グループは自社独自の製品・サービス創出による事業領域の拡大、アライアンス推進による営業力・市場競争力の強化、各事業セグメント間の連携強化によるシナジー効果の最大化に努めるとともに、新規顧客の開拓および既存顧客の深耕に注力してまいりました。

とりわけ、ドキュメントソリューション「SmartSESAME® SecurePrint!」(スマートセサミ セキュアプリント)シリーズにつきましては、マルチベンダー認証印刷システム市場にて2年連続で売上高シェアNo.1(*1)を獲得するなど、独自性・優位性の高い自社開発製品を市場に提供することができました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、携帯デバイス検証の商談減少や前期の大口仕入販売の反動減等がみられたものの、上記諸施策に取り組んだことで、売上高は311億4千万円、前年同期比6億5千1百万円(2.1%)の増となりました。利益面については、付加価値の高い自社開発製品の販売ならびに品質・生産性向上等の収益改善活動をさらに推し進めたことで粗利率が改善し、営業利益は21億2千万円、前年同期比8億1千8百万円(62.9%)の増、経常利益は20億5千7百万円、前年同期比7億7千9百万円(61.0%)の増となりました。また、投資有価証券の売却により特別利益を7億3千万円計上したことなどで、四半期純利益は15億1千9百万円、前年同期比8億1千8百万円(116.6%)の増となりました。

*1 株式会社ミック経済研究所が平成26年9月16日に発表した「成長性高いセキュアプリントシステムの市場動向」より、当社製品「SmartSESAME® SecurePrint!」が、売上高において2012年度(シェア44.1%)、2013年度(同55.0%)と、2年連続シェアNo.1であることが判明しました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(品質検証サービス)

品質検証サービス分野におきましては、スマートフォン市場の環境変化に伴う携帯デバイス検証の商談減少により、売上高は23億7千1百万円、前年同期比2億3千8百万円(9.1%)の減となりましたが、情報システム・医療機器・スマートグリッドなど新規検証分野の商談増加が売上減少幅の縮小に寄与しました。利益面につきましては、テスト自動化による生産効率の向上に努めたことなどで、営業利益は3億5千1百万円、前年同期比1億9千9百万円の増となりました。

(IT基盤サービス)

IT基盤サービス分野におきましては、データセンターサービスが伸び悩んだものの、インフラ構築サービスが堅調に推移したことに加え、既存顧客との取引拡大および新規顧客の獲得に取り組んだことで、売上高は81億9千7百万円、前年同期比1億2百万円(1.3%)の増となりました。利益面につきましては、運用ガイドライン導入により作業標準化を図るなど、品質・生産性の向上に取り組んだほか、経費節減に努めたことで、営業利益は12億4千2百万円、前年同期比1億7千2百万円の増となりました。

(ビジネス支援サービス)

ビジネス支援サービス分野におきましては、自社開発製品「SmartSESAME® SecurePrint!」シリーズの販促活動強化ならびにデジタルエンジニアリングに関するサービス拡充に努めてまいりました。業績面につきましては、前期のハードウェア切替需要に伴う大口仕入販売の反動減がみられたものの、上記自社開発製品の販売が好調に推移したことなどで、売上高は35億1千4百万円、前年同期比1億5百万円(3.1%)の増、営業利益は1億7千8百万円、前年同期比1億5百万円の増となりました。

(システム構築サービス)

システム構築サービス分野におきましては、プロジェクト監視強化の徹底による品質向上に努めるとともに、ニアショアなど開発分業化推進による高生産性の実現に取り組んでまいりました。業績面につきましては、既存顧客との取引拡大および新規顧客の獲得により、売上高は170億5千6百万円、前年同期比6億8千1百万円(4.2%)の増、営業利益は28億1千6百万円、前年同期比5億4千6百万円の増となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

総資産の残高は353億5千6百万円となり、前連結会計年度末と比べ23億8千8百万円の増加となりました。これは、現金及び預金が29億9千万円増加、有価証券が2億3千5百万円増加したこと、受取手形及び売掛金が8億6千4百万円減少したことなどによるものです。

(負債)

負債の残高は131億2千7百万円となり、前連結会計年度末と比べ11億1千5百万円の増加となりました。これは賞与引当金が5億5千7百万円増加、未払法人税等が4億9千8百万円増加したことなどによるものです。

(純資産)

純資産の残高は222億2千8百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億7千2百万円の増加となりました。これは、四半期純利益を15億1千9百万円計上したこと、剰余金の配当により3億4千8百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年1月期の連結業績予想につきましては、平成26年9月5日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,865,896	6,856,068
受取手形及び売掛金	8,120,189	7,256,165
有価証券	685,030	920,790
商品	103,130	146,138
仕掛品	481,722	604,597
その他	1,006,734	1,391,486
貸倒引当金	△24,913	△13,852
流動資産合計	14,237,790	17,161,394
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,325,035	7,972,863
土地	2,512,896	2,511,776
リース資産(純額)	3,880,960	3,657,612
その他(純額)	1,002,960	1,172,799
有形固定資産合計	15,721,853	15,315,052
無形固定資産		
のれん	12,806	6,617
その他	423,556	362,323
無形固定資産合計	436,363	368,941
投資その他の資産		
その他	2,588,242	2,525,584
貸倒引当金	△16,359	△14,707
投資その他の資産合計	2,571,882	2,510,877
固定資産合計	18,730,099	18,194,871
資産合計	32,967,890	35,356,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年1月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年10月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,358,644	1,476,060
短期借入金	367,500	363,600
未払法人税等	530,669	1,029,052
賞与引当金	404,877	962,410
受注損失引当金	10,620	5,270
その他	2,319,723	2,796,565
流動負債合計	4,992,034	6,632,958
固定負債		
長期借入金	136,200	122,600
長期末払金	536,734	529,554
リース債務	3,633,067	3,382,147
繰延税金負債	278,232	287,368
退職給付引当金	1,330,939	1,060,300
役員退職慰労引当金	6,592	6,801
資産除去債務	1,098,456	1,106,050
固定負債合計	7,020,222	6,494,822
負債合計	12,012,257	13,127,781
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,586,000	6,586,000
資本剰余金	6,415,030	6,415,030
利益剰余金	9,088,140	10,247,815
自己株式	△1,748,969	△1,730,501
株主資本合計	20,340,200	21,518,343
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	74,020	109,090
為替換算調整勘定	27,400	23,932
その他の包括利益累計額合計	101,420	133,022
新株予約権	21,138	33,693
少数株主持分	492,872	543,424
純資産合計	20,955,632	22,228,483
負債純資産合計	32,967,890	35,356,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年2月1日 至平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年2月1日 至平成26年10月31日)
売上高	30,489,479	31,140,534
売上原価	24,557,895	24,668,586
売上総利益	5,931,583	6,471,948
販売費及び一般管理費	4,629,850	4,351,236
営業利益	1,301,733	2,120,712
営業外収益		
受取利息	747	1,779
受取配当金	3,639	9,283
有価証券評価益	67,590	35,760
その他	109,220	51,537
営業外収益合計	181,197	98,360
営業外費用		
支払利息	192,432	151,231
その他	12,175	10,204
営業外費用合計	204,607	161,436
経常利益	1,278,323	2,057,636
特別利益		
固定資産売却益	416	315
投資有価証券売却益	—	730,116
持分変動利益	73,419	—
特別利益合計	73,835	730,432
特別損失		
固定資産売却損	—	506
固定資産除却損	20,859	16,341
関係会社出資金売却損	—	4,083
厚生年金基金脱退損失	—	5,649
割増退職金	89,969	—
その他	20,723	—
特別損失合計	131,552	26,581
税金等調整前四半期純利益	1,220,605	2,761,486
法人税、住民税及び事業税	519,928	1,244,345
法人税等調整額	△37,360	△55,148
法人税等合計	482,568	1,189,197
少数株主損益調整前四半期純利益	738,037	1,572,289
少数株主利益	36,536	52,734
四半期純利益	701,500	1,519,555

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年2月1日 至 平成25年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年2月1日 至 平成26年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	738,037	1,572,289
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,000	35,204
為替換算調整勘定	13,146	2,800
持分法適用会社に対する持分相当額	5,871	△6,061
その他の包括利益合計	132,017	31,943
四半期包括利益	870,055	1,604,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	832,386	1,551,156
少数株主に係る四半期包括利益	37,668	53,076

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成25年2月1日至平成25年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	品質検証 サービス	I T 基盤 サービス	ビジネス 支援 サービス	システム 構築 サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,610,243	8,095,161	3,409,199	16,374,874	30,489,479	—	30,489,479
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30,080	178,015	70,880	116,304	395,280	△395,280	—
計	2,640,324	8,273,176	3,480,079	16,491,178	30,884,759	△395,280	30,489,479
セグメント利益	151,911	1,070,426	73,868	2,269,324	3,565,530	△2,263,797	1,301,733

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,263,797千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成26年2月1日至平成26年10月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	合計
	品質検証 サービス	I T 基盤 サービス	ビジネス 支援 サービス	システム 構築 サービス	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,371,989	8,197,299	3,514,703	17,056,541	31,140,534	—	31,140,534
セグメント間の内部 売上高又は振替高	544	305,785	253,741	126,449	686,520	△686,520	—
計	2,372,533	8,503,084	3,768,445	17,182,991	31,827,055	△686,520	31,140,534
セグメント利益	351,180	1,242,765	178,958	2,816,191	4,589,096	△2,468,384	2,120,712

(注) 1 セグメント利益の調整額△2,468,384千円は、主に報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。